

歌手として皆さんに伝えたいこと



仙台オペラ協会芸術監督 佐藤 淳一

皆さんはオペラの舞台を生で観たことがありますか？オペラは外国語で演奏され、歌いながら演劇をするクラシック音楽で、なんだかよくわからないし…、とても敷居が高くて…、と思っている方も多いのではないかと思います。オペラは1600年頃に誕生し（日本では江戸時代の始まり頃）、その内容には宗教劇に音楽が付いたものもあれば、その当時に流行っていた恋愛小説や三面記事的な事件、今でいえばワイドショーのネタになりそうなお話もオペラ作品として作られました。今の時代のようにたくさんの情報を誰もが享受し、たくさんの娯楽を楽しめる時代ではなく、当時の人達はオペラのような作品を鑑賞しながら一緒に笑い、または泣いて、人生を豊かにしてくれるものとして楽しんでいました。

私は仙台オペラ協会では約30年間演奏に携わってきました。昨年からのコロナ禍で、今まで想像もしたことなかった「歌うことが何よりも危険なこと」という状況に、混乱したまま毎日を送っています。昨年予定していた公演は勿論中止になり、そっくりそのままの企画を1年後にスライドさせました。しかし今年に入っても、私達の生活環境は落ち着きを見せていません。様々な音楽活動が少しずつ再開されてきましたが、まだまだ自由にはいかず、活動の制約が余儀なくされています。オンラインという新たな分野の開拓も進み、今までになかった演奏スタイルも出てきましたが、私はやはり「生の音」による音楽にこだわりたいと思っています。肉声による音の伝わり方、その現場の空気感、全身を音で包まれた時の高揚感はその会場に足を運ばなければ体感できない貴重なものだと思います。これからの世の中

を創造していく皆さんには、オンラインの世界がどんなに発展しても、生の音楽の重要性を伝えていきたいと思っています。

今、私達の周りにはたくさんの音楽があふれています。皆さんはどの音楽分野が好きですか？私はクラシック音楽に興味を持ち、その音楽に触れていると心が安らぎます。J-POPがいい、いやK-POPだ、いやいやジャズやロックが私は好きだ…など、どの分野でも、あるいはそんな垣根も無く音楽は楽しいと思ってもいいでしょう。

2011年の震災直後には音楽は無力だと感じました。しかし少し時間が経つと今度は、音楽が人々の生きる活力になるのだと思わせてくれる経験もしました。音楽のみならず芸術とは、その日の食べ物にはなりませんが、その人のこれからの人生を豊かにしてくれる力があります。コロナ禍から解放されましたら、是非「生の音楽」に触れる時を持ってください。私達のような地元で地道に努力している演奏家にも目を向けてくださるととても嬉しいです。そうして興味を持ってコンサートに足を運んでくださると、演奏する人達も嬉しくなって、もっともっと演奏に励みます。

私はコロナの後の世の中で新しく何が出来るのか、今とても楽しみにいろいろ考えています。

